

縦0.9m×横1.8mの両面式



津別高校3年生が1年かけ完成・設置

# 新しい学校の看板できたよ！

8頁。国道側の面は「津別高校」の文字をライトで明るく照らすデザインで、門脇業史さん(3年)が発案した。高校側の面は、木材を切り抜いたアルファベットの文字を1文字ずつ張って校名を躍動感いっぱい表現。橋本悠さん(同)がデザインした。

材料のカラマツ材は、北見広域森林組合津別事業所の提供を受けた。22日は3年生が取付作業もこなし、設置を完了。新しい看板の設置を提言した柏葉幸音さん(同)は「ようやく形になりうれしい。看板を見て、津別高校に行きたいと思ってくれたら」と話した。(浩)

津別高校の3年生がアイデアを出した高校の新しい看板が完成し、22日、高校入り口の国道240号沿いに設置した。木材の温かみを生かしたデザインで、2年生の時に提言し、1年近くかけて完成にこぎつけた。

津別について学ぶ「つべつ学」の取り組み。高校入り口の看板は木製の両面式に決め、今年4月から9月、横1・

カラマツの丸太ベースに

「まる太くん」もあしらう

